



---

# LODE RUNNER™

ロードランナー

## ゲームの遊び方

1人用

---

80の迷路。あっちこっちの宝をとっていく。  
穴を掘って敵を落とす。スピーディな動きで  
敵をまどわす。そして一気に頂上へ駆けのぼ  
ることが大切。81から256面の迷路は君がデザ  
インするスペースだ。未知のゲームをバシバ  
シつくろう!!——自称ゲームクリエーターの  
君に贈る超スーパーゲームです。



# 目 次

ゲームをはじめる前に..... P.1

## 操作方法

キーボード (SC-3000シリーズ  
SG-1000シリーズ+SK-1100)

で遊ぶ場合..... P.2

ジョイスティック (SJ-200  
SJ-150  
SJ-300) で遊ぶ場合 ..... P.3

遊び方..... P.4

SG-1000シリーズを持っている君へ..... P.8

SC-3000シリーズ

SG-1000シリーズ+SK-1100 <sup>を持っている君へ</sup>... P.10

キーボードの特別な操作..... P.10

新しいゲームをつくる..... P.14

セガのゲームを改造する..... P.17

操作上のご注意..... P.19

特殊キー・一覧表..... P.22



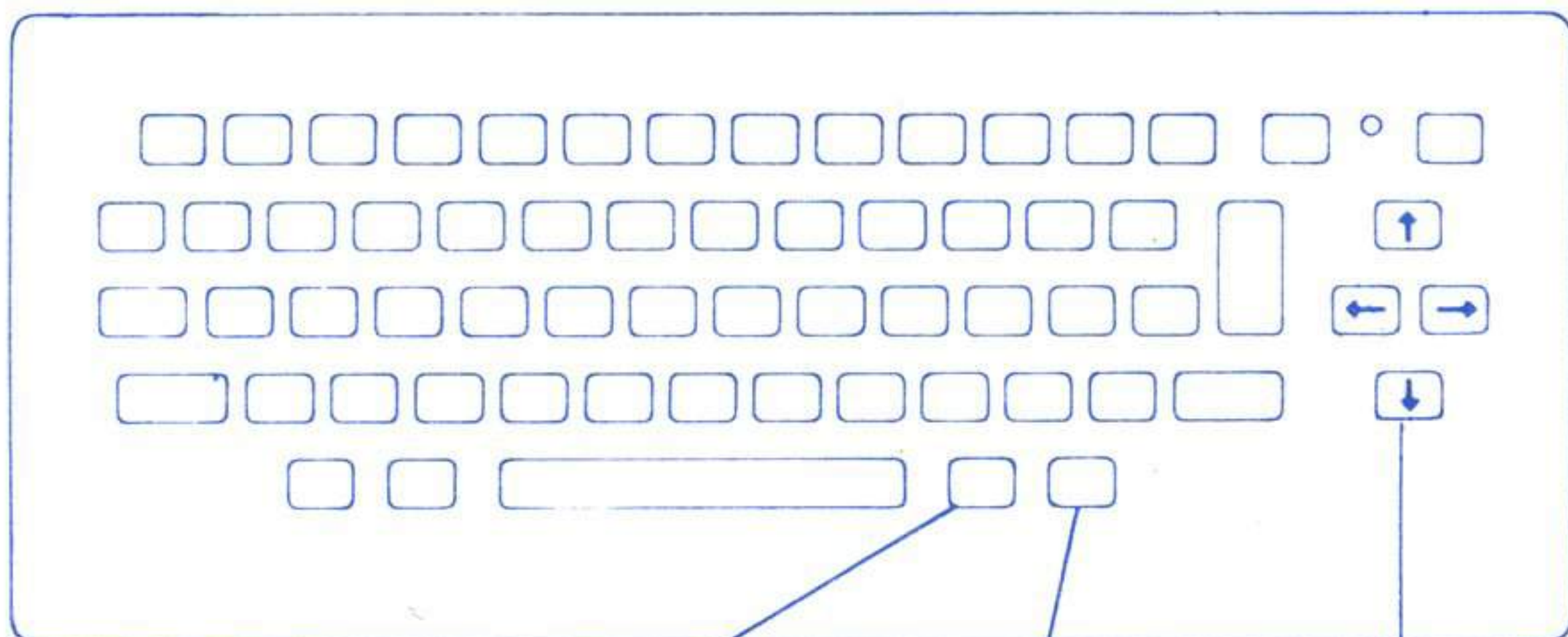
## ゲームをはじめる前に

1. このゲームカートリッジはSC-3000シリーズ又はSG-1000シリーズでご使用ください。
2. SC-3000シリーズ又はSG-1000シリーズのROMカートリッジ挿入孔にゲームカートリッジを差し込んだ後、電源を“ON”にしてください。電源を“ON”にしたままカートリッジを差し込むと、本体及びカートリッジの故障原因となりますのでご注意ください。
3. このゲームは、SG-1000シリーズではジョイスティックで、SC-3000シリーズではキーボード又はジョイスティック(別売)で操作できます。また、SG-1000シリーズに別売のセガ・キーボード(SK-1100)をつないで、SC-3000と同じようにキーボード操作ができます。
4. SC-3000シリーズでジョイスティックを使用してプレイする場合は、“JOY1”の端子へコネクターを差し込んでください。
5. キーボード(SC-3000シリーズ、SG-1000シリーズ+SK-1100)でプレイする場合は、図を参照してください。
6. カートリッジのご使用後は、本体の電源を“OFF”にし、カートリッジを抜きケースに入れて大切に保管してください。



# 操作方法

## キーボード(SC-3000シリーズ SG-1000シリーズ+SK-1100)で遊ぶ場合



HOME  
CLR

スタート・ボタン

プレイヤーの左側  
に穴を掘るボタン

INS  
DEL

スタート・ボタン

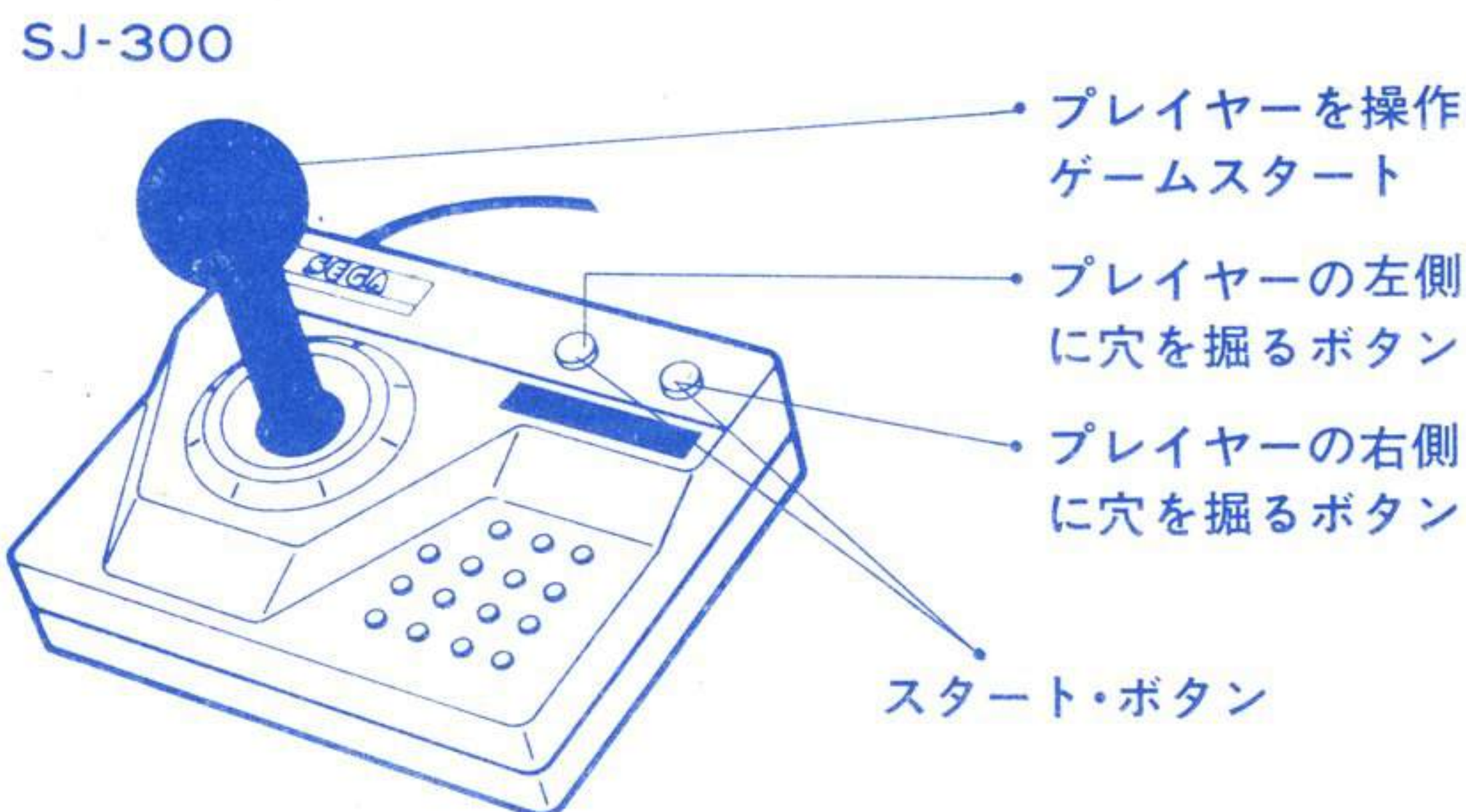
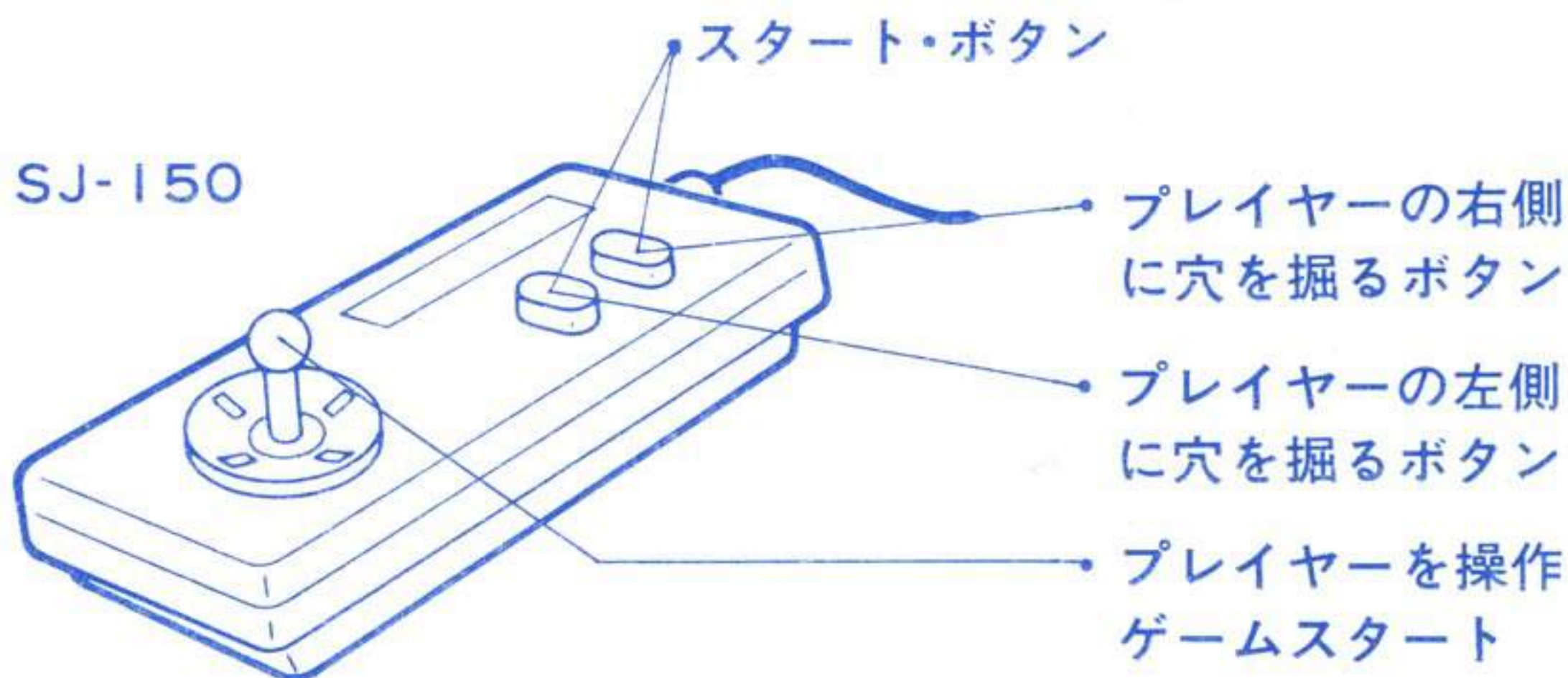
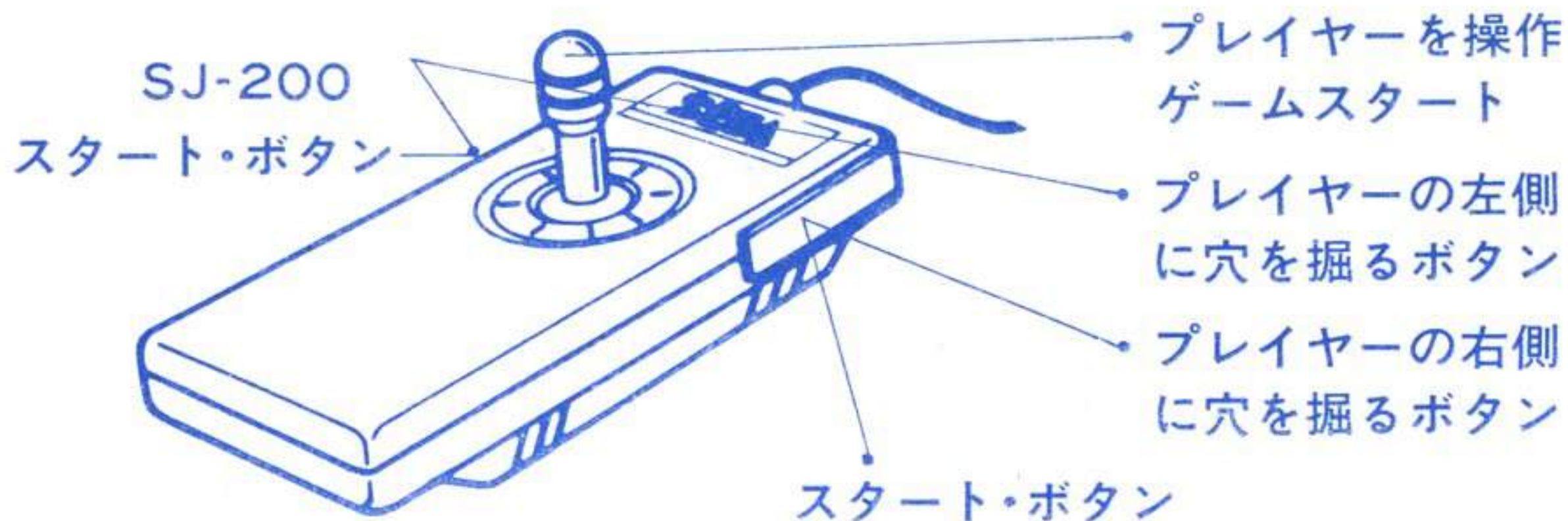
プレイヤーの右側  
に穴を掘るボタン

スタート・ボタン

カーソルコントロ  
ールキーでプレイ  
ヤーを操作





## ジョイスティック(SJ-200、SJ-150、SJ-300)で遊ぶ場合



(別売3,000円)



## 遊び方

- ◎スタート・ボタンを押すとゲームが始まります。
- ◎ジョイスティック、又はキーボードのカーソルコントロールキーでプレイヤーを操作してください。
- ◎ジョイスティックの左右のボタン、又はキーボードの  や  で穴が掘れます。穴はきれつに入ったブロックに掘れますが、はしごやバーのすぐ下、そして落とし穴のところには掘れません。この穴は一定時間後にふさがります。プレイに有利になるように掘ってください。
- ◎敵が穴に落ちて身動きがとれなくなった瞬間、その頭上を通っても安全です。
- ◎穴に落ちた敵はしばらくすると穴から出てきますが、穴を掘るタイミングによっては、そのまま埋もれてしまうこともあります。
- ◎プレイヤーは穴に落ちるとはい上がれないで、そのまま埋もれてしまいます。
- ◎プレイヤーが宝のところを通り過ぎれば宝をとることができ、全部の宝を集めて、はしごの最上段までいくと次の迷路へ進めます。
- ◎プレイヤーが全部の宝を集めて、はしごの最上段までいっても次の迷路へ進めない場合があります。その時は、敵の誰かがまだ宝をかくしもっています。穴を掘って敵を落とし入れてください。宝が出てきます。
- ◎プレイヤーの数は5人で、1つのレベルをクリアするごとに1人増えます。



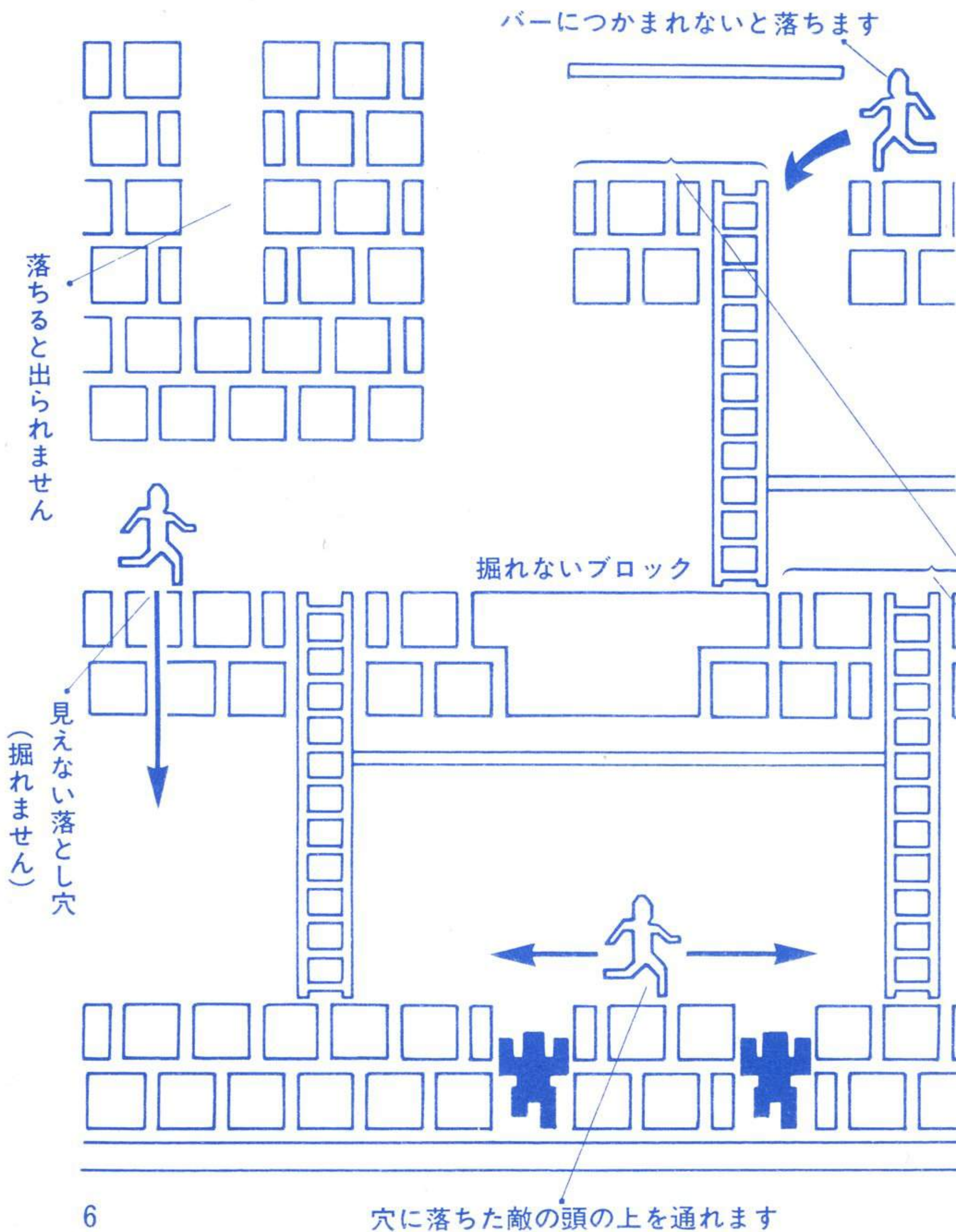
- ◎80面まで次々とふしぎな迷路が現われてきます。1つ1つの迷路をクリアするためにどんなテクニックを使うか——それを考えていくのが、この「ロードランナー」の一番のおもしろさです。
- ◎プレイ中にキーボードやジョイスティックを使ってLEVEL(レベル)の番号やMEN(プレイヤー)の人数を自由に変えたり、身動きできなくなったプレイヤーを消す特別な操作ができます。  
 (くわしくは、SG-1000シリーズについてはP8、SC-3000シリーズ又はSG-1000シリーズ+SK-1100についてはP10~11をみてください。)
- ◎キーボードを使って81~256面に君のオリジナル迷路をつくってテープにセーブできます。  
 (くわしくはP11~18をみてください。)

## スコア

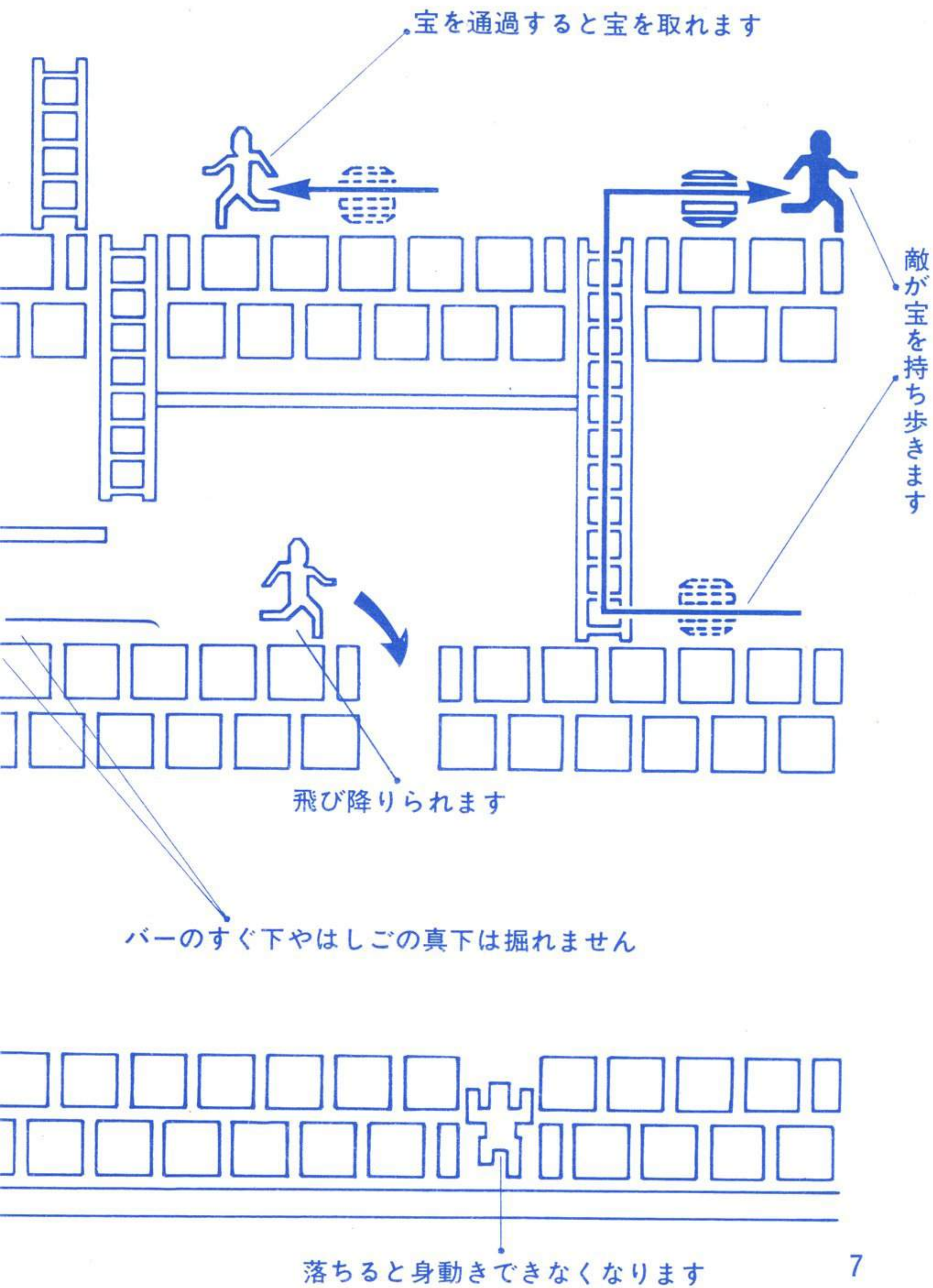
宝をとると.....	250点
掘った穴に敵を落とすと.....	75点
敵が穴に埋めれると.....	75点
ボーナス点.....	1つのレベルをクリアするごとに、 1,500点



# 図解テクニック









---

# SG-1000シリーズを持っている君へ

---

I. プレイ中にジョイスティックの左右のボタンを同時にしばらく押し続けていると画面に次のような表示が出てきます。

- 1.PLAY LEVEL
  - 2.ADDITIONAL PLAYERS
  - 3.ESCAPE
  - 4.RETURN

ジョイスティックレバーを上下に動かし、上の数字（1.～4.）を点滅させて次の操作をすることができます。

- 1.PLAY LEVEL:ジョイスティックの左のボタンを押すとレベル（画面番号）を1つずつ進め、右のボタンを押すとレベルを1つずつ戻すことができます。
- 2.ADDITIONAL PLAYERS:ジョイスティックの左右どちらかのボタンを押すとプレイヤーの数を1人から999人まで増やせます。
- 3.ESCAPE:プレイ中にプレイヤーが壁にとじこめられて、ゲームが続けられなくなった時に押してください。そのプレイヤーが1人減り、ゲームが再スタートします。
- 4.RETURN:1.や2.でレベルや人数を決めたらジョイスティックの左右どちらかのボタンを押してください。ゲームが再スタートします。



- ⑨ 8 ページの 4 つのジョイスティック操作はSG-1000シリーズにジョイスティックをつないだ場合だけで、キーボード（SC-3000シリーズ、SG-1000シリーズ+SK-1100）にジョイスティックをつないでも受けつけません。10ページのキーボード操作をしてください。

II、SG-1000シリーズだけでも十分にゲームを楽しめますが、迷路をつくることはできません。自分でゲーム面をデザインしたい君はセガ・キーボードSK-1100をつないでください。



## SC-3000シリーズ SG-1000シリーズ+SK-1100 を持っている君へ

プレイ中に次のような操作ができます。

**CTRL** — **6** : 次のレベル（画面番号）へ進めます。

**CTRL** — **2** : プレイヤーの数を1人から999人まで増やせます。

**CTRL** — **A** : プレイヤーが壁にとじこめられて、ゲームが続けられなくなった時に押してください。そのプレイヤーが1人減り、ゲームが再スタートします。

**CTRL** — **R** : GAME OVER（ゲームオーバー）にして、プレイ前のデモ・モードの状態に戻ります。

好みのレベルを選んですぐプレイしたい時は次のような操作をしてください。

①

### 編集モードの入力

画面の状態により次の3つの方法があります。

- デモ・モードの時 **CTRL** — **E**
- プレイ中の時 **CTRL** — **R** → **CTRL** — **E**
- スタート・ボタンを押してもプレイヤーを動かす前

**CTRL** — **E** → カーソルコントロールキー

**HOME  
CLR**、

**INS  
DEL**、

ジョイスティックレバー、ジョイスティックの左右のボタンのどれか1つを動かす



↓

**LODE RUNNER BOARD EDITOR**

⑨ **CTRL**—**E**や**CTRL**—**R**は**CTRL**と  
**E**、**R**の2つのキーを同時に押してください。

⑩

遊びたいレベルの入力

**P**→ **PLAY LEVEL** **0 0 1** → 001～080のレベル  
番号を打ち込む

↓

**PLAY LEVEL** **× × ×**

↓

**CR**

↓

プレイ開始

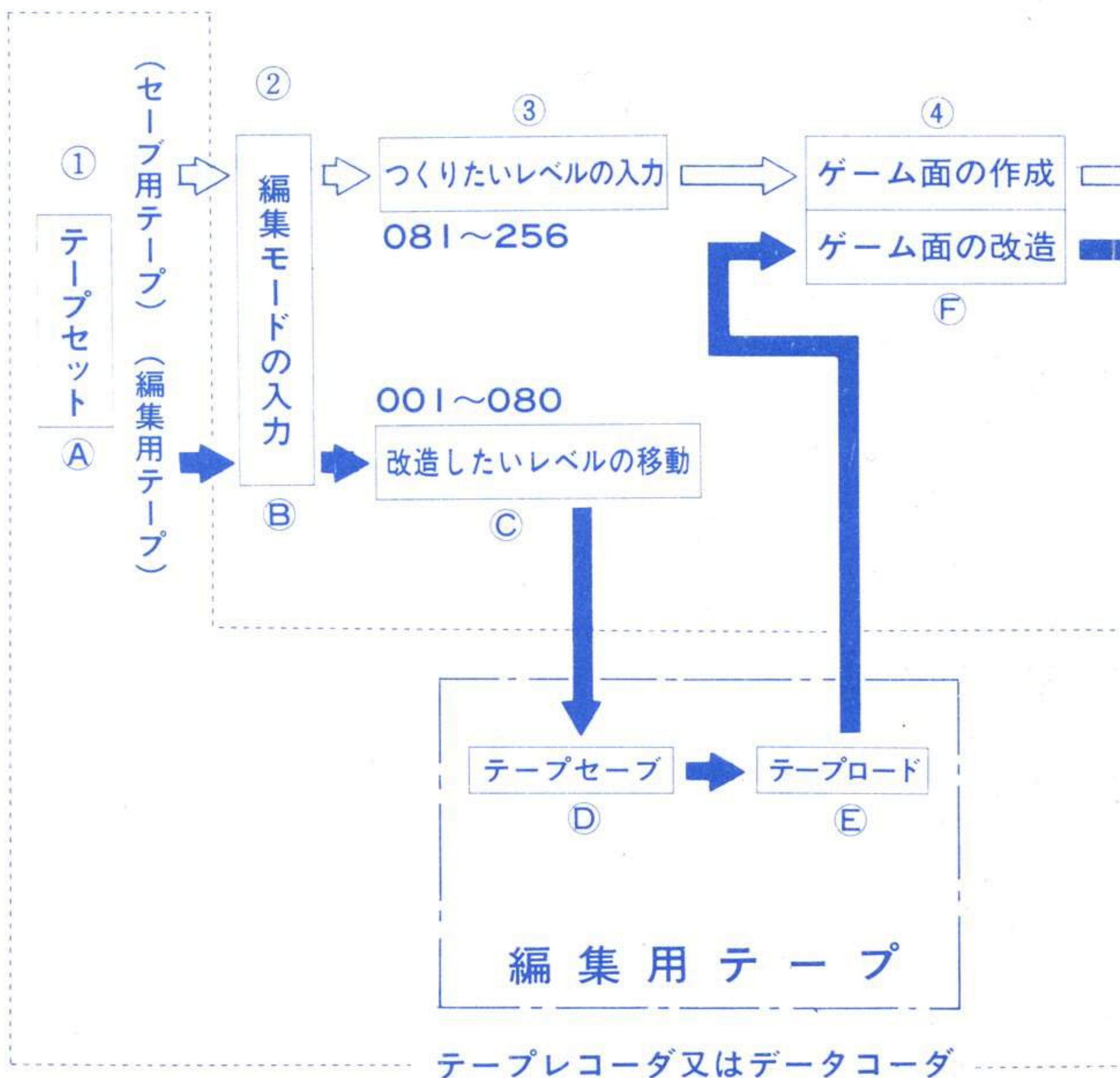
いよいよ君がオリジナルゲームをつくり、テープにセーブして遊ぶ番です。“自分だけのゲームをはじめからつくり上げるか”、それとも“セガのゲームを新しいゲームに改造する”を選んでください。最初は(表2)、(表3)をみて、なれたら(表1)だけで、かんたんにゲームをつくれるようになります。

テープは、編集用(改造したいゲームをセーブする時に使う)とセーブ用(新しくつくったゲームを入れておく)の2本のテープを用意してください。



(表1)

# —ゲームをつくる—



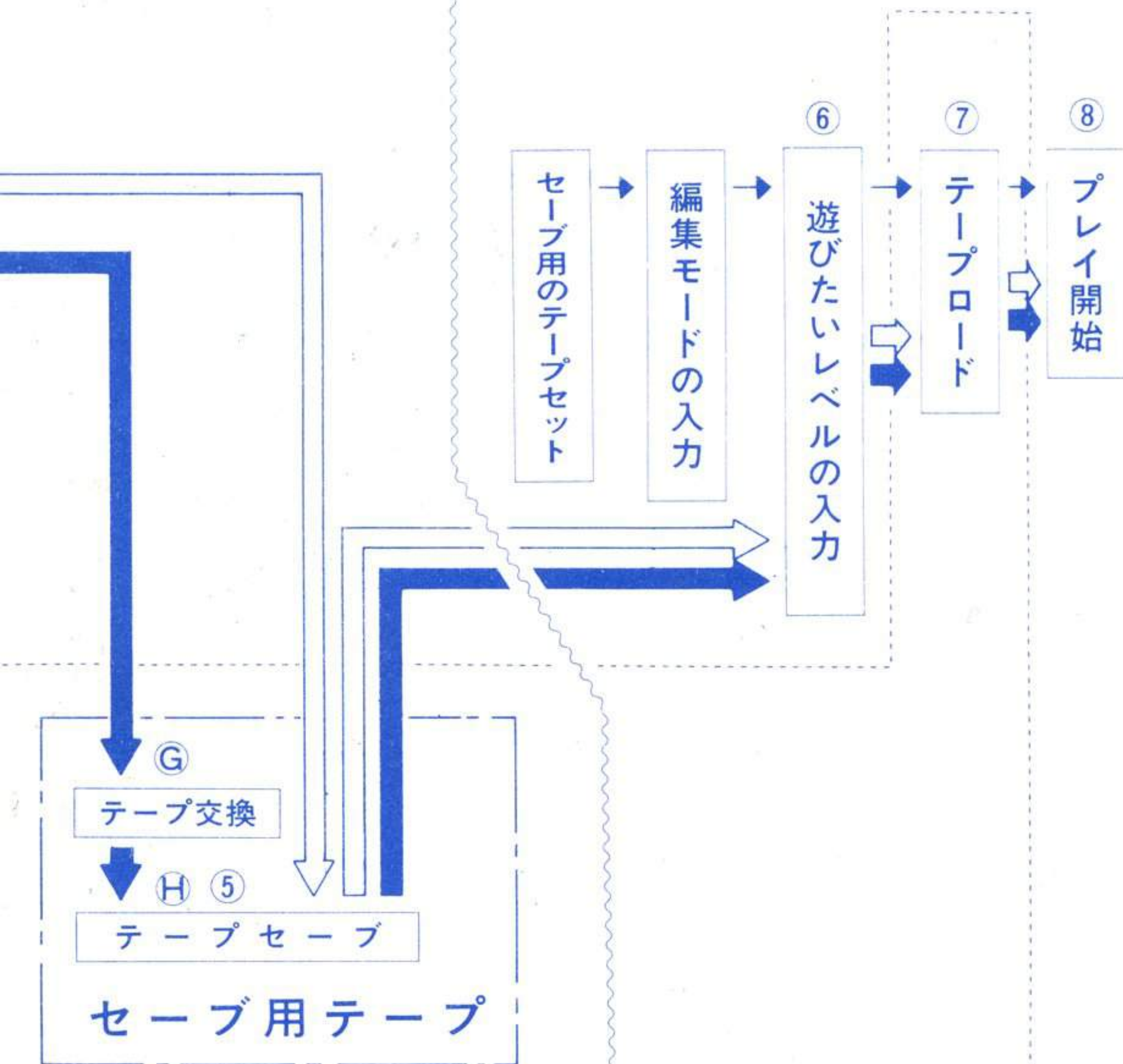
→ 新しいゲームをつくる①～⑧

■ セガのゲームを改造するA～H、⑥～⑧

→ つくったゲームで遊ぶ



# —ゲームで遊ぶ—



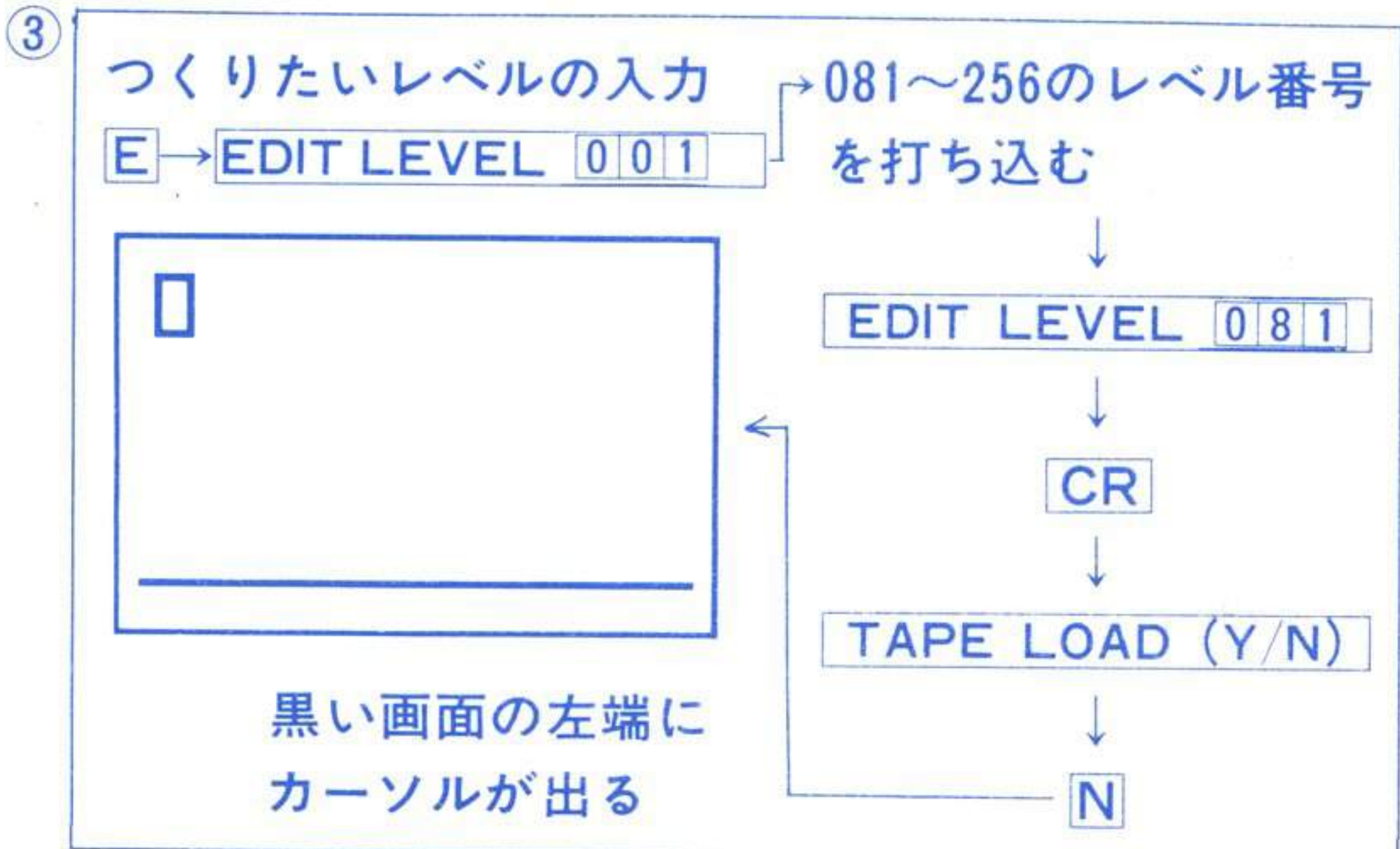


## 新しいゲームをつくる(表2)

- ① セーブ用のテープをテープレコーダにセット

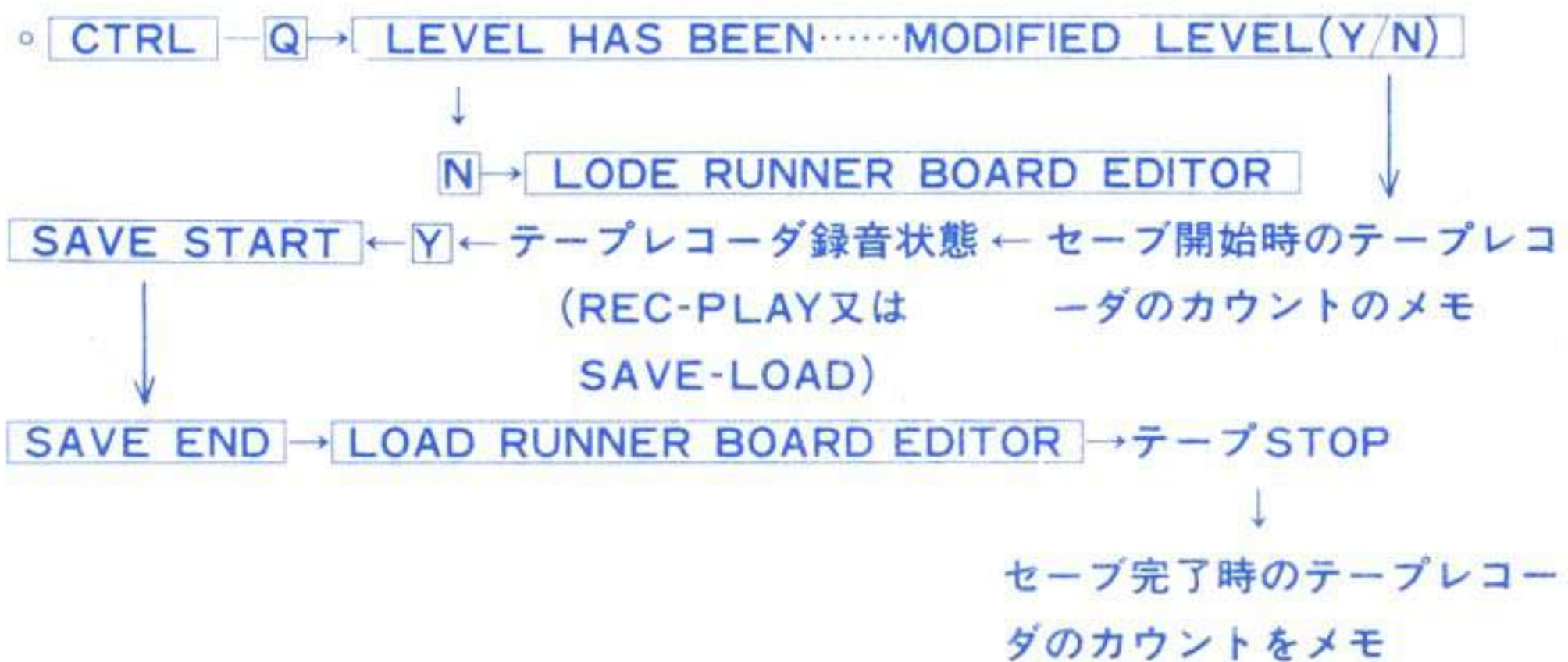
↓ (19ページの注意2 をみる)

- ② 編集モードの入力(10ページの②に同じ)



↓ (19ページの注意3 をみる)

- ⑤ テープにセーブする





#### もう一つのセーブ方法

- **CTRL** — **S**……セーブ開始時のテープレコーダのカウントをメモして、テープレコーダを録音状態にしてから押してください。すぐにセーブができます。セーブ完了時のカウントをメモしてください。

(20ページの注意5、注意6 をみる)

④

#### ゲーム面の作成

カーソルコントロールキーで画面のカーソルを動かして**1**～**0**のキーを押してゲームをつくる。



1 = 掘れるブロック



6 = 全部の宝をとった後、現われるはしご



2 = 掘れない  
ブロック



7 = 宝



3 = はしご



8 = 敵 (最高 5 人)



4 = バー



9 = プレイヤー  
(1 人)

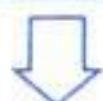


5 = 落とし穴



0 = ブランク (一度つくった画面を消す)

次ページにつづく



(19ページの注意4 をみる)



## つくったゲームで遊ぶ

新しいゲームをセーブしたセーブ用の  
テープをセット

14ページの⑤より

編集モードの入力(10ページの①に同じ)

⑥

遊びたいレベルの入力

P → 

PLAY	LEVEL	0	0	1
------	-------	---	---	---

 → 遊びたいレベルの番号  
を打ち込む(081~256)

↓  

CR
----

 ← 

PLAY	LEVEL	0	8	1
------	-------	---	---	---

  
↳ 

TAPE	LOAD	(Y/N)
------	------	-------

⑦

テープからロードする

セーブ開始時のカウント → Y → 

LOAD	START
------	-------

  
までテープREVIEW

↓  

LOAD	END
------	-----

 ← 

FOUND
-------

 ← テープLOAD(PLAY)

↓  
ゲーム面が出る → テープSTOP

↓  
⑧ 

プレイ	開始
-----	----

 (20、21ページの注意8 をみる)



## セガのゲームを改造する(表3)

①

編集用のテープをテープレコーダにセット

②

編集モードの入力(10ページの①に同じ)

③

改造したいレベルの移動

M → MOVE LEVEL 0 0 1

001～080のレベル番号を打ち込む(改造したいレベル)

MOVE LEVEL 0 0 1 → CR

MOVE LEVEL 0 0 1 TO LEVEL 0 0 1

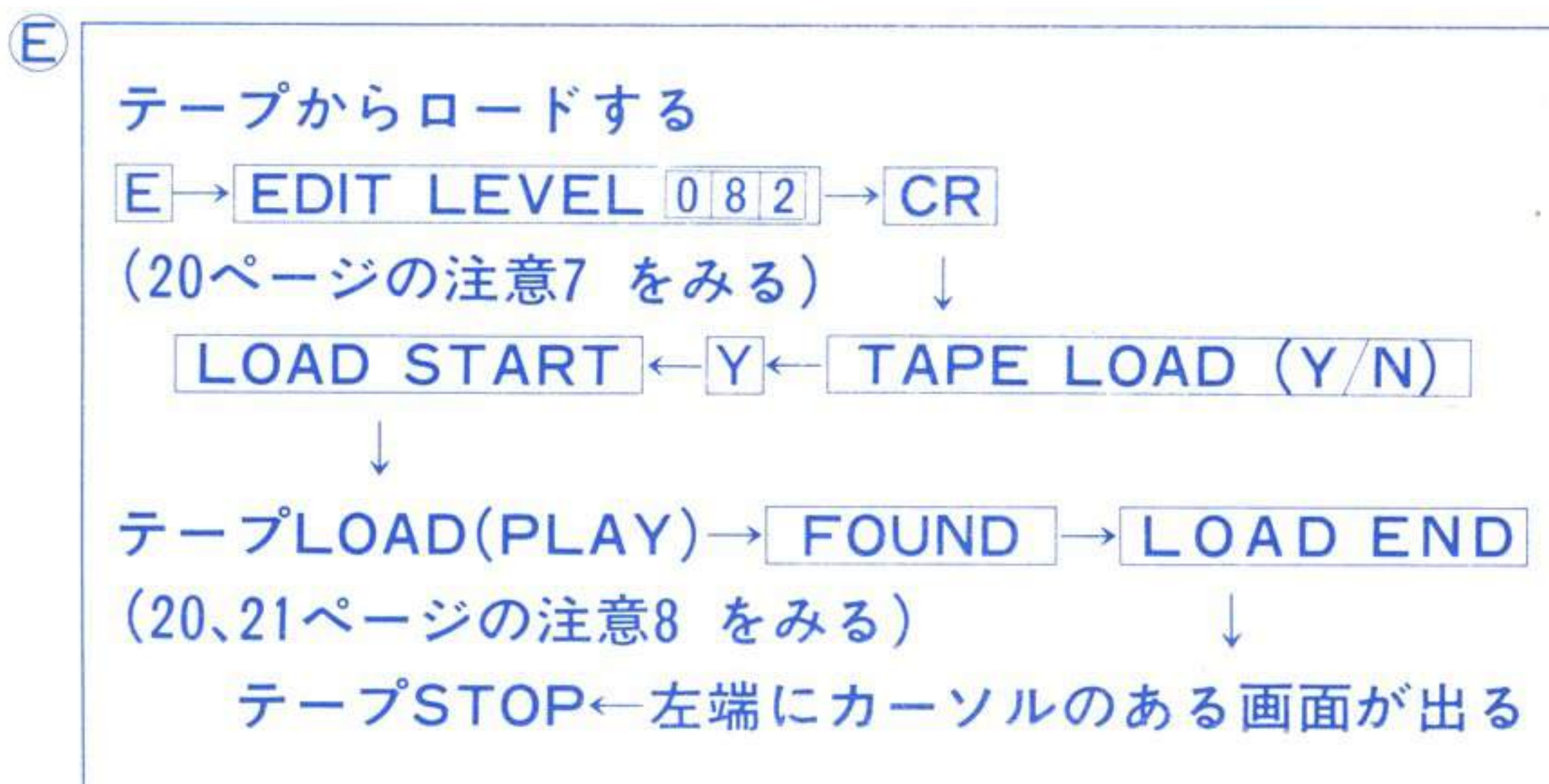
081～256のレベル番号を打ち込む (移す先のレベル)

MOVE LEVEL 0 0 1 TO LEVEL 0 8 2

CR → MOVE LEVEL 0 0 1 TO LEVEL 0 8 2  
TAPE SAVE(Y/N)

↓ (19ページの注意3 をみる)  
次ページにつづく





⑥ ゲーム面の改造(15ページの④に同じ)



(19ページの注意4 をみる)

⑦ テープレコードの編集用テープをセーブ用テープと交換



(19ページの注意2 をみる)

⑧ 改造完了画面をテープにセーブする  
(14ページの⑤に同じ)

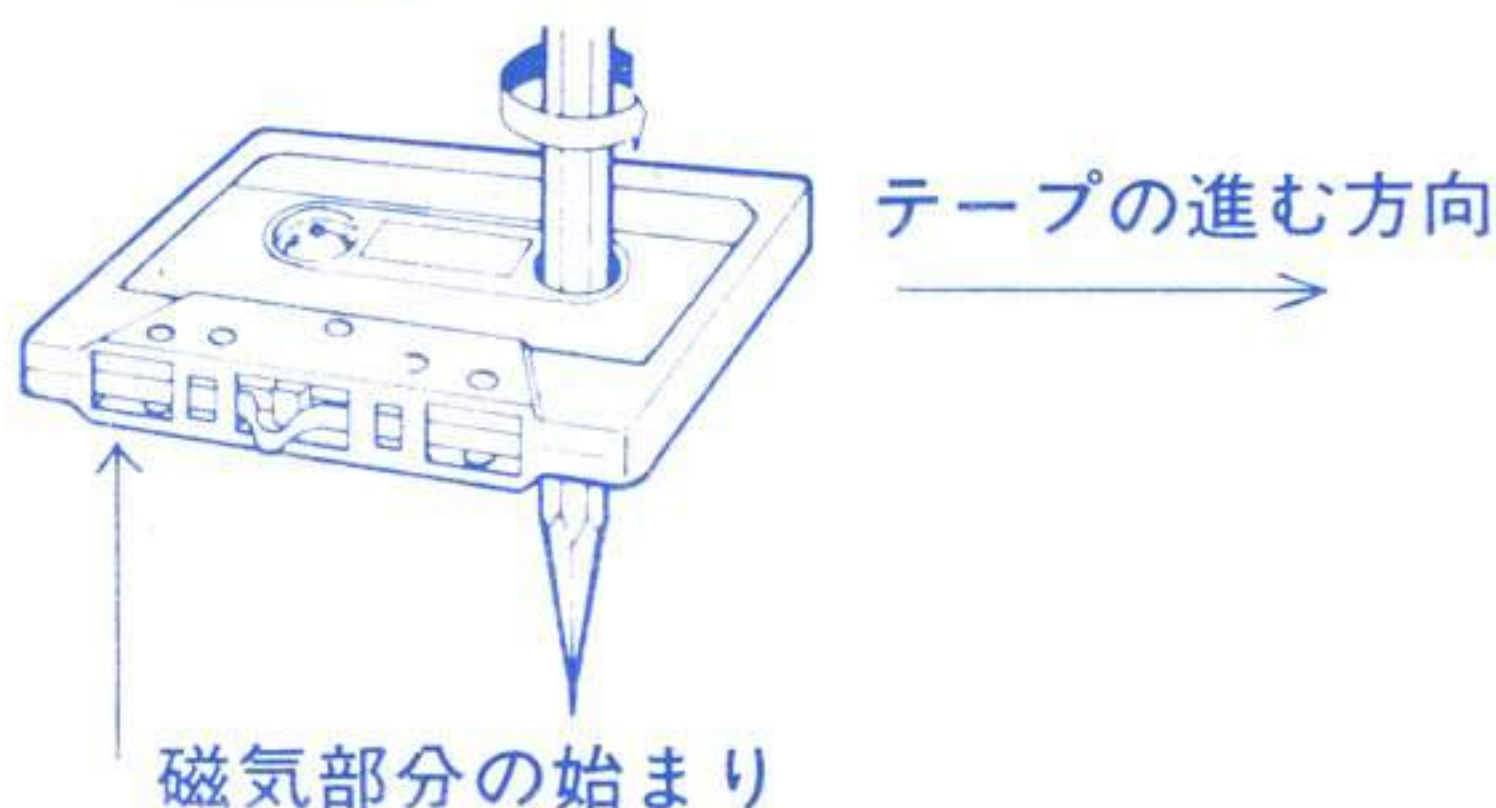
(20ページの注意5 、 注意6 をみる)





## 操作上のご注意

- 注意1 : 8 ページの4つのジョイスティック操作はSG-1000シリーズにジョイスティックをつないだ場合だけで、キーボード（SC-3000シリーズ、SG-1000シリーズ+SK-1100）にジョイスティックをつないでも受けつけません。10ページのキーボード操作をしてください。
- 注意2 : セーブ用テープは、最初にセットする時、磁気部分（録音できる部分）の始まりを図の矢印の位置に合わせて、そこでテープレコーダのカウントを000にしておいてください。



- 注意3 : いくつもゲームをつくって1本のテープにセーブしていく場合でも、必ずしも番号順にレベルを打ち込んでセーブしていく必要はありません。しかし、レベル81～256までの176のレベルを番号順にセーブしていった方が、このゲームは簡単に整理できます。
- 注意4 : ゲーム面ができ上がったら、プレイヤーが必ず入っているかどうか確認してください。



注意5 : セーブする時は、セーブ開始・完了時のテープレコーダのカウントをしっかりとメモしておいてください。さもないとロードができなかったり、次にセーブする時にその前につくってセーブしたゲームを消してしまうことがあります。また、ゲームをセーブした後、4～5秒テープを進めてから次のゲームをセーブするようにしてください。

注意6 : 他社のテープレコーダによってはセーブできない場合があります。SC-3000シリーズやSG-1000シリーズ+SK-1100にはVERIFY（確認）の機能がありませんので、その確認ができません。セーブ完了後は、16ページの⑥、⑦の方法で実際に画面に出してみても、セーブが正しくされたかどうか必ず確認してください。

注意7 : このレベルの移動によって、もとのレベル1がなくなるわけではありません。また、レベル82に移して改造したゲームをもとのレベル1に転送することはできません。

注意8 :


- 。テープからロード中、**SKIP**で終わった場合……セーブ時に入力したレベルの番号とロード時のレベル番号が違います。もう一度テープを巻き戻し、パソコンの電源を一度切ってふたたび入れ、編集モードの入力、そして16ページの⑥、⑦の操作をしてください。
- 。テープからロード中、**TAPE READ ERROR**と表示された場合……しばらくすると編集モード入力時の



状態になりますから、16ページの⑥、⑦の操作をしてください。こうしたエラーは、音量が適当でなかったり、古いテープを使った場合などによく起こります。これはコンピュータの故障ではなく、カセットレコーダの性能によるものです。カセットレコーダの音量や音質のレベルを変えて試してください。それでもうまくロードができない場合、セガ・データレコーダSR-1000を使ってください。



## 特殊キー・一覧表

キーの名前	は た ら き
CTRL — 6	次のレベル（画面番号）へ進めます。
CTRL — 2	プレイヤーの数を1人から999人まで増やせます。
CTRL — A	プレイヤーが壁にとじこめられて、ゲームが続けられなくなった時に押してください。そのプレイヤーが1人減り、ゲームが再スタートします。
CTRL — R	GAME OVER（ゲームオーバー）にして、プレイ前のデモ・モードの状態に戻ります。
CTRL — E 	<p>編集モードの入力ができます。</p> <p>つくりたいゲームのレベルを入力できます。</p> <p>遊びたいゲームのレベルを入力できます。</p> <p>改造したいゲームのレベルを入力できます。</p>
CTRL — Q CTRL — S	<p>セーブするかどうかの確認後、セーブができます。</p> <p>すぐにセーブできます。</p>















株式会社 **セガ・エンタープライゼス**

本 社 東京都大田区羽田1-2-12

〒144 電話 03(742)3171(大代表)

お問合せは本社パーソナルコンピュータ事業本部まで